

# 平成29年度事業報告書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会  
平成29年度 事業報告書  
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I. 概況

平成29年度事業については、事業計画に則り公益目的事業と収益目的事業（賃貸事業）を実施した。公益目的事業については、科学技術に関する調査研究とその助成、国際交流に対する援助、新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰並びにこれ等の普及・啓発に関する各事業を実施した。

財団の主たる事業である助成事業等については、科学技術に関する調査研究（自主事業）6課題、科学技術に関する調査研究の助成25課題、科学技術に関する国際交流への援助2課題並びに新技術の振興に業績を挙げた者に対する表彰及び科学技術振興のための普及・啓発5課題を実施した。

また、本年度は財団創立35周年を記念して理事長賞を設け特別調査研究助成を行う等記念に係る事業を実施した。

II. 事業内容

1. 科学技術に関する調査研究の実施（自主事業）

- 1) 世界大学ランキング2015-2016
- 2) 第5期科学技術基本計画策定過程の調査
- 3) 科学技術・イノベーションによる地球持続可能開発（Sustainable Development）に関する調査研究
- 4) デイープラーニング（深層学習）を中心とする第3次人工知能ブームの限界を探る
- 5) 1980年代後半の超伝導材料研究開発の政策的役割の調査
- 6) 地域社会における人とモノの移動の方向性に関する調査研究

以上の調査研究費の総額は38,476千円となった。

(課題内容は別表—1参照)

2. 科学技術に関する調査研究の助成

調査研究助成は、平成29年度上期14課題（応募総数16課題）、平成29年度下期11課題（応募総数14課題）に対し総額50,900千円の助成を行った。

(助成課題は別表—2参照)

3. 科学技術に関する国際交流への援助

- 1) 第4回日本—リトアニア“自然科学と生命科学”合同シンポジウム
- 2) 山岳城における大気化学・物理に関する国際シンポジウム2017

以上のシンポジウム対し650千円の援助を行った。

(課題は別表—3参照)

4. 科学技術振興のための普及・啓発の推進

科学技術推進協賛事業及び研究奨励金等総額7,712千円の支出を行った。

(課題は別表—4 参照)

#### 5. 収益(賃貸)事業

財団が所有している浜松町 NH ビル(地上8階、地下1階)及び同ビル別館(地上5階)の賃貸事業を行った。賃貸フロアは次の通り。

浜松町 NH ビル (賃貸 6テナント・8フロア)

浜松町 NH ビル別館(賃貸 5テナント・5フロア)

### Ⅲ. 評議員会の開催

#### (1) 第9回評議員会

開催日時 平成29年6月28日(水) 14:00~15:37

開催場所 東海大学校友会館 三保の間

(東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階)

- 議決事項 1) 平成28年度決算報告書(案)の承認について  
2) 次期役員を選任について

### Ⅳ. 理事会の開催

#### (1) 第22回理事会(書面審議)

理事会の決議があったものとみなされた日 平成29年5月10日(水)

理事会の決議があったものとするものとみなされた事項の内容

- 1) 創立35周年記念理事長賞テーマ選考委員会規則の制定について

#### (2) 第23回理事会

開催日時 平成29年6月13日(火) 15:00~16:50

開催場所 財団会議室

(東京都港区浜松町1-25-13 浜松町 NH ビル5階)

- 議決事項 1) 平成28年度事業報告書(案)の承認について  
2) 平成28年度決算報告書(案)の承認について  
3) 平成28年度公益目的支出計画実施報告書(案)の承認について  
4) 次期役員候補者について  
5) 第9回評議員会の招集について  
6) 特別功労金の支出について

#### (3) 第24回理事会(臨時)

開催日時 平成29年6月28日(水) 16:00~16:15

開催場所 東海大学校友会館 相模の間

(東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階)

- 議決事項 1) 新代表理事(新理事長)の選定について  
2) 常勤役員を選任について

#### (4) 第25回理事会(臨時)

開催日時 平成29年9月26日(火) 15:00~16:16

開催場所 財団会議室

- (東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル5階)
- 議決事項 1) 平成29年度下期科学技術調査研究助成課題の採択及び助成金額の決定について
- 2) 創立35周年記念理事長賞(特別調査研究助成)テーマの採択及び助成金額の決定について

(5) 第26回理事会

開催日時 平成30年3月29日(木) 15:00~16:25

開催場所 財団会議室

(東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル5階)

- 議決事項 1) 平成30年度事業計画書(案)について
- 2) 平成30年度予算書(案)について
- 3) 平成30年度上期科学技術調査研究助成課題の採択及び助成金額の決定について
- 4) 武安義光理事長への一時金について

V. 科学技術振興課題審査委員会の開催

(1) 第13回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 平成29年9月4日(月) 15:00~17:00

開催場所 財団会議室

議事事項 平成29年度下期科学技術調査研究助成課題の選考について

(2) 第14回科学技術振興課題審査委員会

開催日時 平成30年3月6日(火) 15:00~17:00

開催場所 財団会議室

議事事項 平成30年度上期科学技術調査研究助成課題の選考について

VI. 資産運用委員会の開催

第8回資産運用委員会

開催日時 平成29年8月1日(火) 14:00~16:00

開催場所 財団会議室

- 議事事項 1) 平成28年度決算報告書について
- 2) 資産運用の状況について
- 3) 資産運用細則の一部変更について

VII. 科学技術調査研究助成課題の成果報告会

1) 平成27年度下期科学技術調査研究助成課題成果報告会

開催日時 平成29年4月19日(水) 13:00~17:40

開催場所 法曹会館 高砂の間 (東京都千代田区霞が関1-1-1)

報告課題数 18課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員

## 2) 平成28年度上期科学技術調査研究助成課題成果報告会

開催日時 平成29年11月21日(火) 15:00~17:30

開催場所 法曹会館 高砂の間 (東京都千代田区霞が関1-1-1)

報告課題数 9課題

出席者 助成課題申請者・その関係者、当財団役員、評議員及び課題審査委員

## VIII. 創立35周年記念事業

### 1. 創立35周年記念理事長賞(特別調査研究助成)

#### (1) テーマ公募

創立35周年記念事業として当財団の理事長賞を設け、特別調査研究助成(賞状と副賞の調査研究助成金:五百万円を授与)を行うこととし、①世界及び日本を見据えた将来社会に係るテーマであって、広い視野での科学技術政策の対象となるもの、②それに係る調査研究計画(広い視野での将来の科学技術政策への反映ができる成果をもたらすと期待される計画(調査期間は原則2年以内))を募集した(募集開始は平成29年2月1日、締切は4月17日(月))。その結果、12件の提案があった。

#### (2) 創立35周年記念理事長賞テーマ選考及び決定

財団に設けた創立35周年記念理事長賞テーマ選考委員会(委員長:阿部 博之(国研)科学技術振興機構 特別顧問、東北大学名誉教授)が提案を審査、平成29年7月4日に委員会を開催し審議した結果、最優秀提案を新潟大学人文社会・教育科学系 教授 佐藤 靖氏から提案のあったテーマ「ビッグデータ利用の拡大がもたらす政策形成過程の変容」と決定し、その旨を理事長に答申した。この結果を得て、平成29年9月26日開催の理事会においてテーマを決定し、創立35周年記念式典において理事長賞賞状及び調査研究助成金 金五百万円の目録を佐藤 靖氏に授与した。

#### (3) 採択テーマ「ビッグデータ利用の拡大がもたらす政策形成過程の変容」に係る調査研究の概要

本研究は、近年のビッグデータの利用の急拡大が、政策形成における科学的知見やエビデンスの役割及び態様をどのように変容させつつあるかを明らかにするものである。ビッグデータの台頭は科学の性格自体を変えつつあり、政策形成と科学との関係も今後大きく変わっていく。本研究では、このような変化の具体的な事例を統合的に収集、比較分析し、国際的に連携しつつ今後の政策形成過程のあり方に関する示唆を導くことを目指す。

### 2. 記念誌の刊行

平成29年7月1日に創立35周年を迎えた当財団に対する認知度の向上を図るとともに、当財団の事業を(特に活動の規模が当初の予想以上のものとなった最近10年間の活動を中心に)まとめ、今後の財団の活動方針の検討に資することを目的として、「創立35周年記念誌—最近10年の歩みを中心に—」と題した記念誌を平成29

年10月20日付で刊行した。

記念誌は、武安義光理事長の挨拶、戸谷一夫文部科学事務次官の祝辞から始まり、第1章 財団の活動、第2章 関係者のメッセージ、第3章 資料の構成となっている。特に第2章の関係者のメッセージでは、当財団とかかわりの深い（一社）科学技術と経済の会 野間口有会長、（公財）未来工学研究所 平澤冷理事長、（公社）日本工学会 柘植綾夫 顧問・前会長、（NPO）富士山測候所を活用する会 土器屋由紀子理事、（NPO）総合画像研究支援 大隅正子理事長、九州大学 永田晃也教授・科学技術イノベーション政策教育研究センター長、東京大学大学院農学生命科学研究科 二瓶直登准教授にご寄稿頂いた。

記念誌は五百部印刷し、記念式典の記念品として参加者に配布するとともに、当日ご参加頂けなかった財団関係者に送付した。また、国立国会図書館に納本した。

### 3. 創立35周年記念式典・特別講演・懇親会の開催

平成29年10月25日（水）16時から20時にかけて、東海大学校友会館（東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞が関ビル35階）にて創立35周年記念式典・特別講演・懇親会を開催し、百数十名の参加を得た。

#### （1）35周年記念式典・特別講演

##### ①開会及び来賓祝辞

主催者を代表して武安義光理事長が挨拶を行った。その後、戸谷一夫文部科学事務次官から来賓祝辞を頂いた。

##### ②創立35周年記念理事長賞（特別調査研究助成）の授与

創立35周年記念理事長賞（特別調査研究助成）選考経過報告が阿部博之理事長賞テーマ選考委員会委員長からあった。その後、武安義光理事長が、受賞者の新潟大学教授 佐藤 靖氏に対して理事長賞賞状と調査研究助成金 金五百万円の目録が授与し、佐藤氏から今後の調査研究への取り組み等について発言があった。

##### ③創立35周年記念特別講演

細野秀雄東京工業大学教授・元素戦略研究センター長より、「新技術への挑戦」と題して、科学技術振興機構のERATO等による高性能透明薄膜トランジスタ（IGZO：イグゾー）の研究開発とその展開、鉄系超伝導体の発見、C12A7 エレクトライドによるアンモニア合成への取り組み等について、ご講演を頂いた。

#### （2）記念懇親会

主催者を代表して武安義光理事長が挨拶し、濱口道成（国研）科学技術振興機構理事長から来賓祝辞を頂き、野間口有（一社）科学技術と経済の会会長から乾杯のご発声を頂いた。その後、歓談を行った。

## IX. 評議員、役員

平成30年3月31日現在

評議員	役員
岡田雅年	理事長 武安義光
臼井勲	理事 太田充代
鍵山真由美	同 木村茂行
金原和夫	同 児玉柳太郎
島田博文	同 佐藤征夫
永野博	同 高木喜一郎
平澤洽	同 高園武治
村田朋美	同 中西友子
村野和雄	同 藤岡宏衛
森口泰孝	監事 坂田東一
	同 西村守正

- (注) 1. 評議員任期：平成27年6月26日～定款第14条に定める日  
 2. 役員任期：平成28年6月28日～定款第28条に定める日  
 \*平成28年6月28日就任の川崎雅弘理事は平成29年7月3日逝去。

平成29年度科学技術調査研究、調査研究助成、援助等に関する一覧

別表-1 科学技術調査研究の実施（自主事業）

交付番号	課 題	内 容	実施機関
R-H29-110	世界大学ランキング 2015-2016	三大ランキング（タイムズ社、クア クアレリ・シモンズ社、上海ランキ ング・コンサルタンシー社）に絞っ て、ランキングの間の違いを2016年 までのデータを基に紹介し、共通的 に表れる大学順位の傾向の国別比較 を試み、その中から見えてくる日本 の大学の課題について検討する。	(一財)新技術振興 渡辺記念会
R-H29-111	第5期科学技術基本 計画策定過程の調査	最新の科学技術基本計画の形成過程 を調査研究すると共に、これを第1 期基本計画と比較し深みのある政策 の形成を目指す。特に第5期基本計 画は従前の基本計画が文部科学省を 中心に行われてきたのに対し、内閣 府が中心となった検討という点でも ユニークである。	(一社)未踏科学技 術協会
R-H29-112	科学技術・イノベー ションによる地球持 続可能開発 (Sustainable Development)に関す る調査研究	SDGs（持続可能な開発目標）におい ては、科学技術の役割、産業界の役 割が重視され、中小企業やベンチャ ーも大きな役割を果たしており、活 動事例も見られるようになった。こ れらの活動事例をフォローして新技 術の振興を図り、社会経済の発展と 福祉の増進に寄与するとの視点から 活動事例の調査研究を行う。	(一社)科学技術と 経済の会
R-H29-113	ディープラーニング (深層学習)を中心 とする第3次人工知 能ブームの限界を探 る	人工知能の成果を知識の原理にさか のぼって整理すると、第三世代人工 知能の得意分野と不得意な領域とが 見えてくる。本研究では多様な事例 を対象として第三次ブームを先導す る深層学習手法の可能性について分 析を深め、その限界をまとめる。	(公財)未来工学研 究所
R-H29-114	1980年代後半の新超 伝導材料研究開発の 政策的役割の調査	研究開発の歴史の中で画期的な事件 である1980年代後半の高温超伝導 体の発見について30年余を経た現 在、関係者から入手可能な資料を収	(一社)未踏科学技 術協会

		集し、歴史を追跡調査する。この時期の科学技術政策がその後の我が国における超伝導科学技術研究開発の推進にもたらしたポジティブな結果の実証を試み、その社会的認識を明確化して今後の科学技術政策展開に一定の提案をする。	
R-H29-115	地域社会における人とモノの移動の方向性に関する調査研究	地域社会における人とモノの動きの急激な変化の現状と課題を把握し、その変化の今後の方向性を検討・提示することによって、地域のステークホルダーが、この変化に対応するための方策の策定に資することを目指して実施する。国の国家戦略特区や構造改革特区等での本テーマに関連した取組みについても調査を実施する。	(一社)新技術協会

別表-2 科学技術調査研究の助成

交付番号	調査研究課題名	申請者所属機関
H29-432	Beyond 5G と AI が織りなす IoT の世界-東京五輪とその後に向けた情報革新技術-	沼津工業高等専門学校
H29-433	モンゴルにおける技術者高等教育プログラムに対する支援方法の検討	徳山工業高等専門学校
H29-434	電子図鑑タブレットを活用した初等教育に対する日英比較調査	青山学院大学 理工学部
H29-435	交通インフラにみるアジア新興国におけるスマートシティの可能性の検討	九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター
H29-436	人とロボットの良好なインタラクションの構築に関する調査研究	(一社)新技術協会
H29-437	農業改革における IoT・ビッグデータ活用に関する調査研究	(一社)科学技術と経済の会
H29-438	「新たな産業構造下における産業界のグローバル人材育成の課題とあり方」に関する研究	(一社)技術同友会
H29-439	社会インフラ分野におけるビッグデータの利活用に関する調査研究	(一財)公務人材開発協会
H29-440	「世界の宇宙を活用した教育・人材育成の取組みに関する調査」	(一財)日本宇宙フォーラム
H29-441	若者向けエネルギー教育プログラムの社会定着に向けた手法改善と人材育成に関する研究	(一社)環境政策対話研究所
H29-442	バイオミメティックスの学理に基づくモノづくりの動向調査	(一社)未踏科学技術協会
H29-443	短期訪問外国人研究者及び理工系学生等の交流見学支援用のシステム開発	(公社)科学技術国際交流センター
H29-444	障害者の STEM 教育、STEM キャリア支援についての比較調査研究	(公財)未来工学研究所
H29-445	地域に存在する大学による地域イノベーションの加速方策に関する調査	(公財)全日本地域研究交流協会

(上期 14 課題)

H29-446	海洋プレートの沈み込みに伴う巨大地震の発生に関する先行研究の課題と問題点	静岡大学
H29-447	バングラデッシュの製薬産業に対する TRIPS 協定の適用猶予期間延長の影響	大阪大学
H29-448	インドネシアの技術者高等教育プログラムにおける英語教育の検討	徳山工業高等専門学校
H29-449	日本のイノベーションシステムの変貌	政策研究大学院大学
H29-450	英語で行われる科学コミュニケーションに関	大学共同利用機関法人

	する動向調査：アジアの大学の国際比較から	人間文化研究機構
H29-451	iPS 細胞再生臓器品質評価に資する電子顕微鏡解析の現況と将来展望に関する調査研究	(NPO)総合画像研究支援
H29-452	日本の新たな宇宙ビジネスとベンチャー企業調査	(一般)日本宇宙フォーラム
H29-453	安全性と持続可能性とを両立させた食のエコシステム構築に関する調査研究	(一社)新技術協会
H29-454	ドローンを活用した社会インフラ向けイノベーションに関する調査研究	(一社)科学技術と経済の会
H29-455	木質バイオマス発電事業における燃焼灰の有効利用に関する調査	(一社)未踏科学技術協会
H29-456	研究不正の告発者とその保護についての事例調査	(公財)未来工学研究所

(下期 11 課題)

**別表-3 科学技術国際交流の援助**

交付番号	名称	態様	主催者、表彰者等
M-H29-46	第4回日本ーリトアニア“自然科学と生命科学”合同シンポジウム	国際シンポジウム 開催助成	東京理科大学
M-H29-47	山岳域における大気化学・物理に関する国際シンポジウム 2017	国際シンポジウム 開催助成	認定 NOP 法人 富士山測候所を活用する会

**別表-4 科学技術振興のための普及・啓発の推進**

交付番号	名称	態様	主催者、表彰者等
W-H29-74	科学技術調査研究助成課題成果報告会 (平成 27 年度下期課題) 開催日：平成 29 年 4 月 19 日 会場：法曹会館「高砂の間」	助成課題成果報告	(一財)新技術振興 渡辺記念会
W-H29-75	「技術経営・イノベーション」推進事業 ① 第 5 回技術経営・イノベーション シンポジウム 開催日：平成 29 年 6 月 6 日 会場：日比谷図書館文化館 日比谷コンベンションホール ② 第 6 回技術経営・イノベーション賞表彰 開催日：平成 30 年 2 月 13 日 会場：ホテルグランドパレス	科学技術推進協賛	(一社)科学技術と 経済の会
IP-H29-30 ～31	第 41 回井上春成賞 研究奨励金贈呈 (2 件) 開催日：平成 29 年 7 月 25 日 会場：日本工業倶楽部会館	研究者表彰後援	井上春成賞委員会 山村 和也 氏 (大阪大学) 藤居 仁 氏 (九州工業大学)
W-H28-76	科学技術調査研究助成課題成果報告会 (平成 28 年度上期課題) 開催日：平成 29 年 11 月 21 日 会場：法曹会館「高砂の間」	助成課題成果報告	(一財)新技術振興 渡辺記念会